

V

市民に「生ごみの水切り器」を無料配布し、
一気にごみを減量して多摩で1位になろう！

西東京市議会公明党 佐藤 公男(さとう きみお)

問 現在本市の家庭ごみの量は多摩で2位。生ごみの水切り器を市民に無料配布し、楽しくごみの減量を進め、多摩1位を目指そう。

答 少しでも水切りを行うことはさらなるごみ減量につながる。他市の水切り方法を調査研究する。

公式LINEの拡充でスマホ市役所に！

問 「行かない窓口」実現に向けて、公式LINEを拡充し、スマホで手続を完結する「スマホ市役所」を目指すべき。

答 公式LINEの機能拡充を含め、市民サービスの向上に向け取り組む。

来年度、トイレカーの導入を！

問 防災対策として改めてトイレカーの導入を求める。また、地域防災訓練の実施団体を増やすべき。

答 トイレカーは導入の検討を進めている。地域防災訓練は防災市民組

織、町内会・自治会に働きかける。

問 バイト等による侵入盗対策を！

問 間バイト等による侵入盗や強盗傷害事件が増えている。青パトの体制強化、防犯上懸念される地域への街路灯の設置等の対策を求める。

答 田無警察署と連携し、青パトの巡回強化、防犯対策としての街路灯の設置等、防犯対策を進めていく。



西東京市
公式LINE画面

V

新しい認知症観に基づく認知症施策の推進
ユマニチュードの普及啓発、講座の実施を

西東京市議会公明党 田代 伸之(たしろ のぶゆき)

問 現在行われている若者ミーティングでの若者参画の仕組みづくり、若者支援についての検討状況は。

答 若者が抱える不安の軽減や経済的な支援、若者同士のつながりの構築とともに、まちづくりへの参画の仕組みづくりを進め、若者がチャレンジできる環境づくりを進める。

意見 若者参画については、行政と若者の役割を決め、双方により相乗効果が生まれる仕組みを検討すべき。

問 認知症の方へのコミュニケーションケア技法である「*ユマニチュード講座」実施の検討を。

答 既存事業等の内容の精査、認知症支援部会との意見交換を行い、次年度以降の取組の中で検討する。

問 認知症一人歩き対策は喫緊の課題。認知症個人賠償責任保険事業の導入を提案してきたが検討状況は。

答 既存事業を活用し、法律上の損害賠償責任に対して支援する取組の実施に向け検討を進めている。

問 特別支援学級での学校選択制を導入すべき。見解を伺う。

答 よりよい学習環境を提供する視点に立ち、お子様の特性に添った学校やより通いやすい学校など、選択の幅を広げていくための手法や条件などについて研究する。



認知症マスコットキャラクター *ロバ隊長

V

保護者が日中いない児童の居場所「学童クラブ」
大人による不適切な対応を早急に改善せよ！！

西東京市議会公明党 藤田 美智子(ふじた みちこ)

問 放課後の安全な居場所「学童クラブ」で、不適切な運営がなされている。理由を聞かず決めつけたり、罰を与えると脅したり、子どもの人格を著しく傷つける言動は、子ども条例に反する。次の4点を早急に直し、改善するよう求める。①ケースを把握できていない定期巡回②関係者のスキル・能力の向上③配慮が必要な児童の情報提供もせず、補助員一人に任せ、一切のサポート無し④児童館長の役割は

答 (市長) 御指摘の内容を踏まえ、子どもにとって過ごしやすい場所となるよう努める。

答 (副市長) 至った背景を含め、現場ときちんと話し合いを重ね、改善に向け努力したい。

答 (部長) 子ども条例の主旨を、携わる職員全員が理解し実践するよう

徹底する。①年1回の児童館長経験者の巡回を増やし、相談しやすい体制を作る。②各学童クラブで研修を行い、指導員の意識改革に努める。③個別シートを作成し、障害児の対応を補助員だけに任せず、指導員が主体的に行い、連携する。④児童館長は状況を把握できず指導に至らなかった。役割を再認識させ改善を図る。



一般質問から

議長を除く26人の議員が、市政全般について市長や教育長などに様々な角度から質問しました。

質問者がまとめた内容を、質問順に掲載します。

全文は後日、会議録に掲載されます。公開予定日は8面をご覧ください。

動画視聴はこちらから！



〈本会議中継 QR コード〉
(次の定例会の中継が公開されると、視聴は終了します)



V

南町3丁目「南町遊水地」公園化へ
近隣住民へ配慮を！校庭開放を進めること！！

西東京市議会公明党 八矢 好美(はちや よしみ)

石神井川上流地下調節池工事

問 以前、課題を5点あげた。

- ① 工事に伴う騒音と振動
- ② 粉じん
- ③ 福祉車両の通行への配慮
- ④ 公園や子どもの遊び場の確保
- ⑤ 樹木の保存

改めて、進捗について伺う。

答 搬出入路の整備準備工事について、説明会を開催する予定。

問 説明会の案内に「南町遊水地」が載っている。関連性は。

答 都の維持管理工事後に、市が公園整備を行っていく。

近隣住民の意見を丁寧にお聞きし、ボール遊び広場の整備の可能性も含め、調整を進める。

意見 「南町遊水地」周辺は、狭い私道であり、住民の道路としている。通り抜ける車が多く、急な坂もある。接触事故もあり、住民の方が困っている場所である。

公園の出入口や騒音の問題など、課題がある。近隣の方の意見を丁寧に聞き、できる限り要望を受けていただきたい。

また、公園ができたとしても広い土地ではなく、近隣小学校の校庭開放に力を入れていただきたい。



南町遊水地

V

市長任期4年間の取組と
これからのまちづくり！

西東京市議会公明党 大林 光昭(おおばやし みつあき)

問 市長任期4年間では、新型コロナ・物価高対策として様々な支援策を実施しつつ、小中学校のタブレット端末導入や給食無償化などを進めてきた。現在の本市の財政状況は。

答 令和5年度決算での経常収支比率は、就任した令和2年度決算と比較して5.7%改善の93.3%と大幅改善した。市債現在高は、令和2年度決算で約552億6,800万円だったが、令和5年度決算では約456億3,000万円と約96億3,800万円の縮減となった。

問 交通不便地域の解消に向けた公共交通の検討状況は。

答 令和7年度下半期開始を目指し、地域にお住まいの誰もが利用可能な実証運行に取り組んでいく。

問 新たな中高生特化型児童館の整備や放課後子供教室の拡充など子どもの居場所の取組状況は。

答 中学生と高校生で構成する準備会を立ち上げ、中高生に特化した児童館に必要な機能を検討しており、設置に向けて検討を進める。また、学校関係者、地域の協力者、学識経験者等で構成する放課後子供教室の在り方を検討する委員会を立ち上げ、子どもたちの居場所づくりの充実に向けて進めていく。



*ロバ隊長 認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター。
*ユマニチュード 知覚・聴覚・触覚などを用いたコミュニケーションに基づく、認知症へのケア技法。